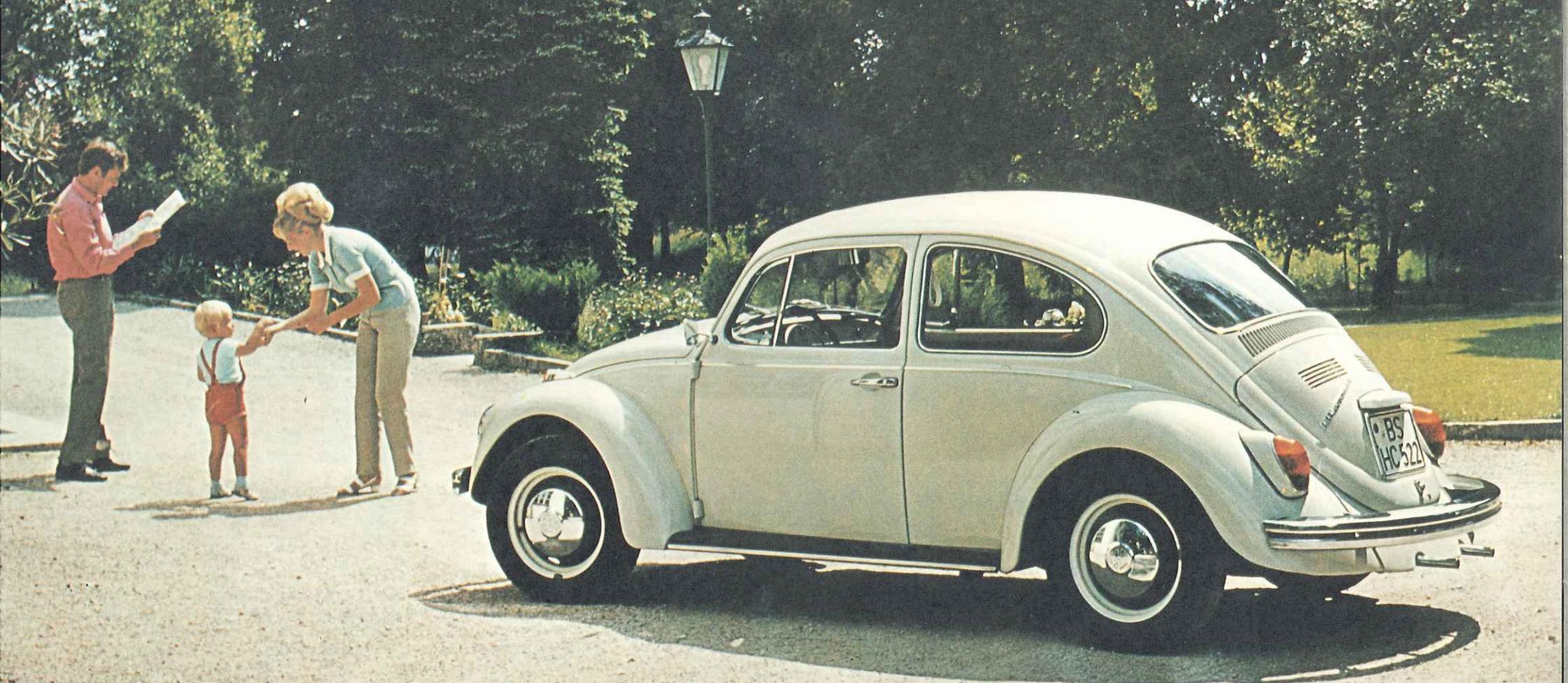


ダイナミックなかぶと虫

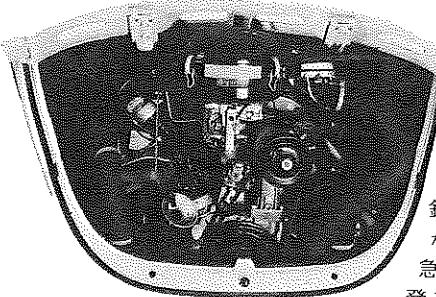
VW1300/1500



VW 1500



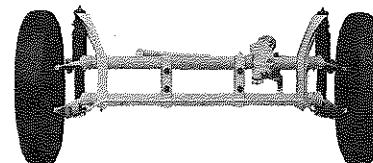
たくましいエンジンです。



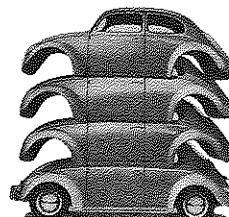
かぶと虫ですから、もちろん空冷リヤエンジン方式です。そして、たくましいパワーを秘めています。鋭いダッシュ、胸がすくような加速、急な坂を一気にかけ登る力、まったく余裕たっぷりです。ハイウェイの連続走行もくらくとこなし、ラッシュ時の低速運転も一向に平気です。フォルクスワーゲンの最高速度は、そのまま巡航速度。さあ、道のつづく限り、ガソリンのつづく限り走ってください。

スポーツカーなみのシャープな走りっぷりです。

リヤエンジン、リヤドライブ、磨きあげられた四輪独立懸架、大きなタイヤなど、フォーミュラカーと同じ機構をもつ



フォルクスワーゲン、そのドライブフィーリングはまさにスポーツカーそのものです。



いたれりつくせりの装備です。

高級車なみの四重塗装、最高質の材料を使った入念な内張り、フォルクスワーゲンの仕上げは何年も何年も使えるように、始めから作っています。

安全性も大切な性能の一部です。

フォルクスワーゲンは、速度制限のないドイツのアウトバーンに生まれ育った車です。ここで“万一”のことが起こったとしたら——フォルクスワーゲンの安全対策が単なる見せかけですまさる筈はありません。衝撃を吸収して客室を守るボディ構造、コラプシブルステアリングコラムなど、すみずみに張りめぐらされた安全への配慮は数えきれません。

経済性も群をぬいています。

かぶと虫の経済性はガソリンの消費が少ないということだけではありません。フォルクスワーゲンサービスをお受けになっている限り何年も何年も安心して乗れる——そして、お乗りかえになる時も、高い値で引き取り手が待っているということです。よいものは、結局、安くつく、という言葉の生きた証拠です。

70年モデル…

一段と充実しました!

形は変わらない——しかし性能は年ごとに改良されるフォルクスワーゲン、70年モデルも大きな充実をとげました。たとえば……

★VW1500のエンジン・フードの上部にエア・インテークのスロットがつき、この強力なエンジンの放熱効果が一段と高まりました。

★各部のクロームメッキを、つや消しのシルバー・ブロンズのメッキにかえ防眩効果の向上で安全性を高めました。ホイールリムやキャップ、スピードメーター廻りの金属、ホーンリング、ドアのピラーなどがそうです。

★エンジンにも数々の改良がなされています。潤滑効果の向上や、新しいキャブレターの装備など——年毎にかぶと虫は、よりたくましく、より安全に、育ってゆくのです。

VW1500D

ルーフがハンドル一つで大きく開くスライディングルーフ付の豪華車。フロントにディスクブレーキ、チューブレスの白タイヤ、外開式のリヤサイドウインドー、ステアリングロックなど、何から何まで至れりつくせりの装備がついています。

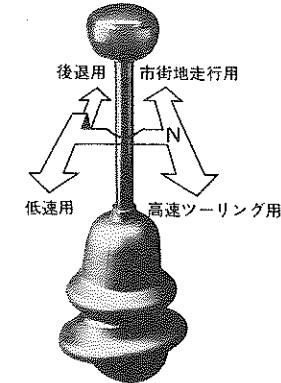
VW1500C

ラジオ、ヒーター、バックアップライト、熱線入りリヤウインドーなど、ぜいたくな装備を持った、デラックスモデルです。

VW1500 セレクターオートマチック

ノークラッチのまったく新しいフォルクスワーゲンドライブの世界です。ポルシェ911Sがスポーツオートマチックの名で装備しているものと同じオートマチックです。しかも、高価なスポーツカーだけがもっているダブル・ジョイント・リヤアクスルも装備しています。

もちろん、イージーなフルオートマチックドライブも、また、シフトダウン、シフトアップも意のままのスポーティドライブも楽しめます。ご婦人方にはもちろん、ベテランドライバーの中でも、今や人気のまとです。



主要諸元

VW1300

1285cc, 50hp/4600回転(SAE)、空冷4気筒、リヤエンジン、自動チョーク付、四輪独立懸架、最高巡航速度 120km/h。

標準仕様

ヒーター、バックアップライト、緊急警告灯、2回路式ブレーキ、衝撃吸収式ステアリングコラム。

VW1500C, VW1500D, VW1500セレクターオートマチック

1493cc, 53hp/4200回転(SAE)、空冷4気筒、リヤエンジン、自動チョーク付、四輪独立懸架、ダブルジョイントリヤアクスル（オートマチックのみ）。最高巡航速度 125km/h（オートマチック 120km/h）

標準装備

ラジオ、ヒーター、バックアップライト、ヘッドレスト付フロントシート、熱線入りリヤウインドー、ステアリングロック、防眩室内ミラー、（フロントディスクブレーキ、スチールスライディングルーフ付は1500Dのみ）

株式会社 ヤナセ フォルクスワーゲン事業部
東京都港区芝浦1-6-38 TEL (03) 452-4311(代)